慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	Principles of economics, Vol. II by Pierson
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.2 (1913. 4) ,p.413(197)- 414(198)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130422-0195

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

C. 國民經濟上の原因　是れ國民經濟の發展社會の階級制度、市場の景氣、經濟組織、信用交通制度、生產方法、分業所得の形成及分配、技術の變遷、其他勞働協約、仲裁及和解會議、工業裁判所並に賃銀會議所の有無及び其發展の遲速如何を指す。

次に非經濟的原因は左の如し

A. 法制上の原因　人格の自由、營業、契約、移轉並に團結の自由を束縛する法制の有無は間接に賃銀決定上尠からざる影響を與ふるものなり。

B. 社會上の原因　勞働者の教育機關、慣習、風俗、情誼、倫理、宗教等も賃銀決定の上に多少の影響を與ふることあるものとす。

以上は著者が賃銀決定の法則に關して有する意見なるが、要するに、著者の言に據れば、如何にして賃銀が決定せらるゝものなるやは吾人の知ること能はざるなり。著者は又勞働の給付に對する雇主の評價及雇主の支拂能力の綜合關係及び賃銀に對する勞働者の評價と勞働者の生活費用の綜合關係なる字句を用ゐらるゝも、綜合關係は如何なる關係なるやを明確に說明せざるを以て、著者の所論は聊か明瞭を缺くものなりと云はざるべからず。賃銀に關する幾多の學說を批評したる後最後に簡單に結論として自己の意見を述ぶることは獨逸の學者間に流行すれども、這は決して吾人の模倣すべきものに非ざるを信ず。

獨逸學者の個人的品性は兎も角學術研究上の誠意と精力には萬人の感嘆措く能はざる所なり然りと雖も、彼等の長所は史實の考究に在りて推理力に非ず、批評力にして創作力に非ず。先輩の唱へたる學說の揚足を取るには頗る妙を得たりと雖も、結論として提供する自己の學說は自己が細密に批評せる學說よりも却つて粗雜な

るもの尠からず。

松村氏の著書も他の學說の記述批評に紙を割くこと百四十四頁なるに、自己の學說の爲に紙を費すこと僅かに二十二頁なり。著者が一獨特の主張を提供せんと欲せば他の學說の批評に二十二頁を費し、自己の說には百四十四頁を割くべかりしならずや。初より著者に賃銀學說史と銘を打つならば兎も角、苟くも賃銀論として江湖に提供すべきものならば、今一段の用意を要せざりしや。

加之、假りにも、賃銀論と銘を打ちたる書物に於て賃銀が如何にして決定せらるべきものなるや知るに由なしと云はれたるは遺憾の極みなり。賃銀決定の法則は果して吾人の知ること能はざるものなるや。世界何處に到るも人口の大多數は賃銀に依りて衣食せるに非ずや。從つて賃銀決定の法則は人生の一大問題に非ずや。されば、若し經濟學にして此重大なる問題を解決する能はずんば其の職責を盡したるものと云ふ能はざるべし。此問題が假令解決し難きものなりとも、否解決すること能はざるものなりとも、吾人は本書の著者の如き斷定を以て滿足すべからずして、益々研鑽考究を怠るべからざるなり。

Principles of Economics, Vol. II By Pierson

千九百十二年マクミラン會社發行

大判六百四十四頁

本書は和蘭の有名なる經濟學者にして又財政家たりし故ピールソン氏の著述に係る經濟原論の第二卷を飜譯せるものなり。原書の第一卷は千八百九十六年に發行せられ第二卷は千九百二年に上梓せられたり。第一卷に載する所は緒論、第一編交換論及び第二編貨幣論にして、此書物はウオッエル氏の筆に依りて飜譯せられ、原書第二卷の上梓せられたる年。卽ち千九百〇二年に倫敦に於て發行せられたり。

第二卷の譯述も亦第一卷と同一譯者の手に成りて、昨年卽ち第一卷の譯書の出版せられたる後十年目にて漸やく發行せらるるに至りたるものにして、之を以て原書全部の飜譯を完結す。

第二卷に收むる所は第三編生產と第四編國家の收入なり。第三編は之を五卷に分ち、生產の目的と性質、生產と射利心、人

口と生産、生産と保護政策、生産と土地所有權の順序を以て著者獨創の見地より此等の重要なる諸關係に就き論述す。第四編は又之を分ちて第一章國有地の收入と手數料、租稅の壓迫、租稅の調節及び第四章公債とす。其内容の詳細及び著者所論の批評に至りては紙面の都合もあれば、之を他日に讓るべきも、本書中にて看るに足るべきものは第三編にして、第四編國家の收入は著書が財政家なりしにも拘はらず、其内容多少貧弱なるが如く思はる。

譯文は處々に瑕瑾なきにしもあらざれども、概して流暢と云ふべく、マーシャルの原論の文章程鍛練せるものにあらずと雖も、マーシャルよりも慥かに讀易き書物なり。殊に獨逸流の長き章句を用ゆることを避けたるを以て、論旨の明快を助くること尠らず。

Japanische Industriearbeit, Von E. A. Heber

千九百十二年ヱーナー市發行

本書はキール大學教授ハームス氏の編纂に係る世界經濟問題叢書の第七冊なり。著者は曾て技師として、三年間我國に滞在せしことありて、多少我國情及び日本語に通ぜる人なり。著書が本書を起稿するに至りたる目的は、日本國民の發達は勞働能力の發達に俟たざるべからざれば、此問題は重要なるにも拘はらず、日本及び歐米の新聞雜誌に散見する論文等は少からざれ

ども、此問題に關する纏まりたる著述としては一もなきを以て、此等の資料を用ゐ、之に自己の經驗と見聞とを加へて、聊か此問題を研究せんと爲すに在り。

本書は分ちて第一章維新前の勞働組織、第二章明治年代に於ける資本と勞働、第三章大工業と勞働、第四章家内勞働、第五章日本特有の工藝勞働、第六章日本職工の勞働能力、第七章勞働階級の生活と營養、第八章勞働階級に關する人口及其他の問題、第九章教育と修業勞働保險と勞働者の保護、第十章回顧と豫想とす。

本書は勿論獨創の研究の成果に非ずして、何等新しき貢獻として看るに足るものなきが如し。唯引用せる資料は比較的正確なるものを選べるの結果、記述に差したる誤謬なし。外國語にて著はされたる此種著述としては良書と云ふべく、行文も亦獨逸文としては流暢なり。

The Laws of Supply and Dewand

by G.B. Dibbee

千九百十二年倫敦發行　中版二百八十九頁　東京　三圓七十五錢

本書は需用と供給の法則を普通の經濟學書に於けるよりも一層精密に說明せるものなり。著書は其中價値に關する一節を除くの外、悉く自己の獨創の意見なりと主張せりと雖も、著書は

マーシャル說の影響を受けたる所尠からざるが如く見ゆ。されど、在來の普通經濟學書にて餘りに重きを置かざるか、或は又全く無視せることにして、本書の立脚地となれるものあり。是れ價格又は價値と時間との關係なりとす。卽ち今日一圓にて賣却する一個の商品の價値と來月の今日に於て一圓にて賣却する商品の價値との間には多少の相違あり。價値と時間との間に於ける此關係は既に幾多の數理經濟學書に於て說明せられたるものなれど、數理經濟學書は讀者尠きを以て或は本書の所論は多くの讀者に對しては耳新らしきものなるべし。兎に角、此關係を至極平易、通俗的に說明せる本書の功績は之を認めざるべからず。

他に新說の如く見るものあれども、多くは舊說を說明するに新奇の字句を用ひるに過ぎず。著書は頗る自惚強き人と見ゆ然れども若し善意を以て解すれば、本書は新刊理論經濟書中一奇彩を放てるものと謂つべし。單純なる需用供給以上に此二原則の複雜なる現象と關係とを知らんと欲する者は是非共一讀すべし。

行文亦拙ならず、說明方法は通俗的にして、間々新奇の字句を用ゆるも、此等は左程解し難きものに非ず。著者は圖解を二個用ゐたるも、他に數字を多く使用することを避けたり。されば數學的推理を好まざる讀者は此著書を歡迎するなるべし。

Traités et conventions commerciaux

大正二年二月　日本外務省發行　大判七百八十一頁　非賣品

本書は其全名を Recueil International des traites et conventions commerciaux en vigueur du xxe siecle（二十世紀に於て實施せらるゝ各國通商條約及協約集）と云ひ外務省の編纂に係るものなり。載するものは世界各國が千九百年一月以來外國と締契せるか、又は其以前に締契せられたるも、現に實施せらるゝ通商條約及協定並に附帶交換公文等なりとす。此等の公文書は原文の儘なるもあれば、佛譯もあり、又英佛對譯もあり。原文の儘なるは英文又は獨文にして他は皆佛譯を用ひたるが如し。されば、三ケ國の國語を用ゆるものなりと雖も、佛文最も多く、英文之に次ぐ。配列は年代の順序に依りたるも、とは頗る無意味と云はざるべからず。されと卷尾に年代に依る索引と國別に於ける索とを加へたれば、多少其缺點を補ふものと云ふべし。紙質良好、印刷鮮明、校正精密なるを以て、通讀に便なり。兎に角、通商關係の研究者には一好參考書と謂つべし。唯稅表を併載せざりしを憾とするのみ。

Life of David Lloyd George, Vol, I,

by Herbert Du Parcq

大判　三百八頁　千九百十二年　倫敦發行